



2019年11月8日

各位

上場会社名 兼房株式会社
 代表者 代表取締役 社長執行役員 渡邊 将人
 (コード番号 5984)
 問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 鈴木 仁
 (TEL 0587-95-2821)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,980	740	740	550	39.57
今回修正予想(B)	9,584	731	619	416	29.96
増減額(B-A)	△395	△8	△120	△133	
増減率(%)	△4.0	△1.2	△16.3	△24.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	10,126	1,138	1,201	849	61.10

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,260	1,650	1,650	1,160	83.45
今回修正予想(B)	19,160	1,590	1,390	930	66.90
増減額(B-A)	△1,100	△60	△260	△230	
増減率(%)	△5.4	△3.6	△15.8	△19.8	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	20,207	1,930	1,939	1,381	99.35

修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、海外における売上高が当初予想を下回る見込みであり、利益面につきましても比較的採算性の良い製品の売上減少が影響し、営業利益は当初予想を下回る見込みであります。また、営業外費用において為替差損1億2千5百万円を計上したことなどから、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも当初予想を下回る見込みであります。

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績修正予想数値を加味し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも下方修正いたします。

なお、通期の業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル=105円、1ユーロ=120円を想定しています。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2019年5月13日発表)	—	7.50	—	17.50	25.00
今回修正予想	—	7.50	—	12.50	20.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	7.50	—	22.00	29.50

修正の理由

当社は、安定的かつ継続的な配当を基本方針として、年間配当金15円を下限とし、連結配当性向30%をめどに業績に応じた配当を実施することとしております。

通期の連結業績予想につきましては、「業績予想の修正について」に記載のとおり、2019年5月13日発表時の通期業績予想よりも下回る見通しとなりましたので、2020年3月期の期末配当金予想を当初の17.5円から12.5円(年間配当20円)に修正させていただきます。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上